

【参考】学校部活動に関するアンケート結果

日進市教育委員会学習政策課

令和 5 年 7 月に市内小中学校の教職員を対象に、学校部活動に関するアンケートを実施しました。いただいたご意見をもとに、今後の市内小中学校の部活動の在り方について、検討いたします。

1 アンケート概要

(1) 調査期間

令和 5 年 7 月 5 日（水） から令和 5 年 7 月 3 1 日（月） まで

(2) 対象者

市内小中学校の常勤の教職員

(3) 回答率

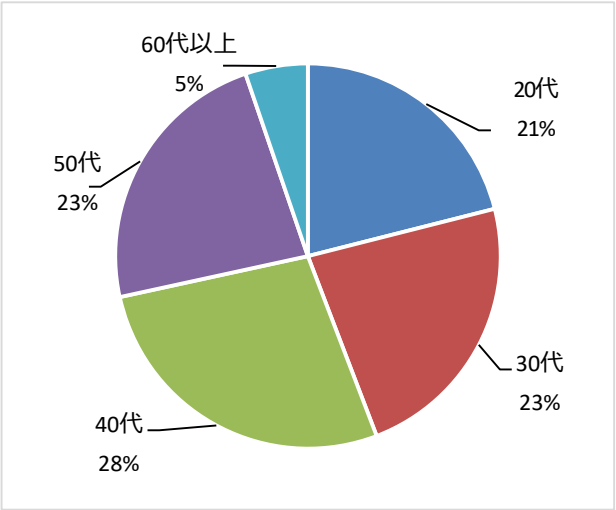
	教職員数（※1）	回答数	回答率
小学校	390 人	190 人	48.7%
中学校	215 人	151 人	70.2%

（※1）教職員数は学校基本調査の数字とする（R5.5.1）。

2 小学校アンケート結果

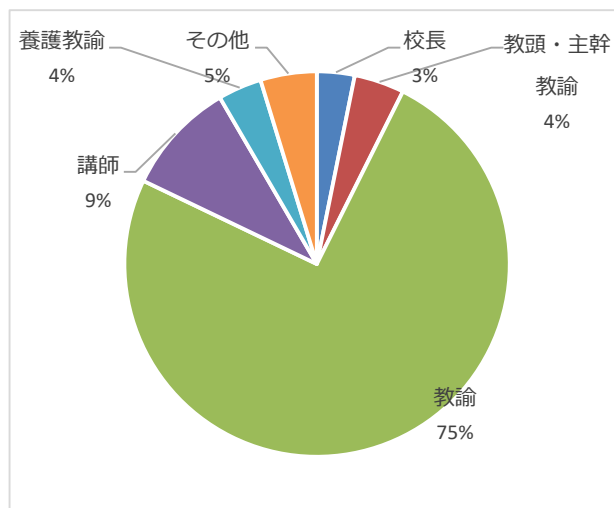
① 年代を選んでください。

20代	40人
30代	44人
40代	52人
50代	44人
60代以上	10人



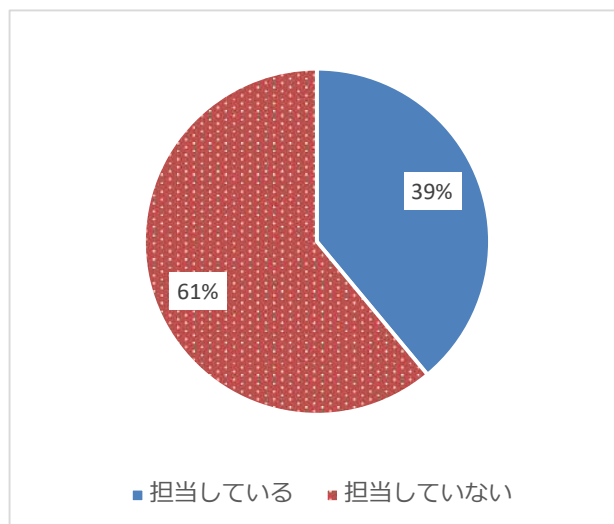
② 職種を選んでください。

校長	6人
教頭	8人
教諭	142人
講師	18人
養護教諭	7人
その他	9人



③ 現在、部活動の顧問（正副含む）を担当していますか。

担当している	74人
担当していない	116人

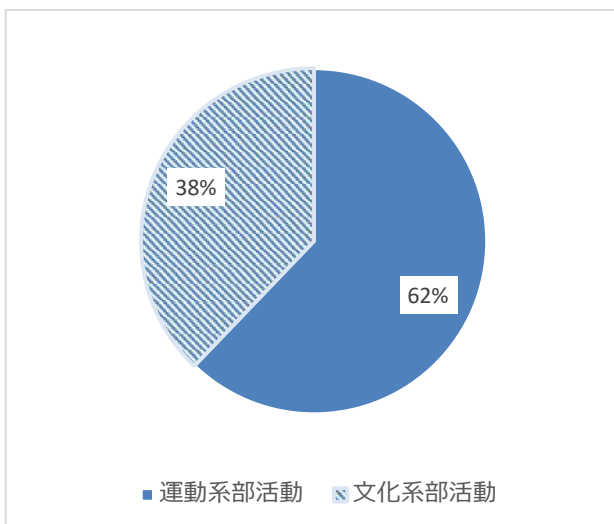


④ 担当している部を選んでください。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

運動系部活動	46人
文化系部活動	28人

部活動の顧問として携わっている教職員のうち、62%が運動系、38%が文化系の部活動を担当しています。

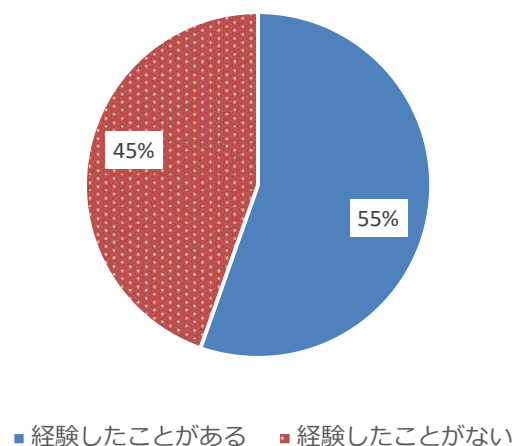


⑤ ④で選択した部活動は、顧問となる前に経験したことがある種目ですか。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

経験したことがある	41人
経験したことがない	33人

部活動の顧問を担当している教職員のうち、45%は経験したことがない種目の顧問を担当しています。

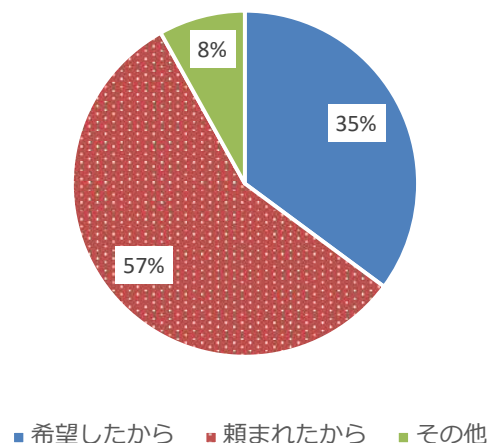


⑥ 担当した理由を選んでください。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

希望したから	26人
頼まれたから	42人
その他（自由記述）	6人

部活動の顧問を担当している教職員のうち 57%は頼まれたことで担当しています。



【その他の意見】

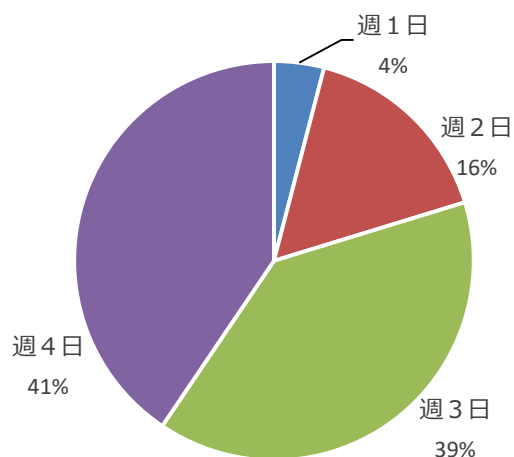
- ・若年層は希望する雰囲気職場にある

⑦ 1週当たりの部活動従事日数（平均）を教えてください。（休日含む）

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

週 1 日	3人
週 2 日	12人
週 3 日	29人
週 4 日	30人

1週間当たりの平均的な部活動従事日数は、週 4 日が一番多く 41%、次いで週 3 日で 39%となり、8 割の教職員が週の半分程度は部活動に従事しています。

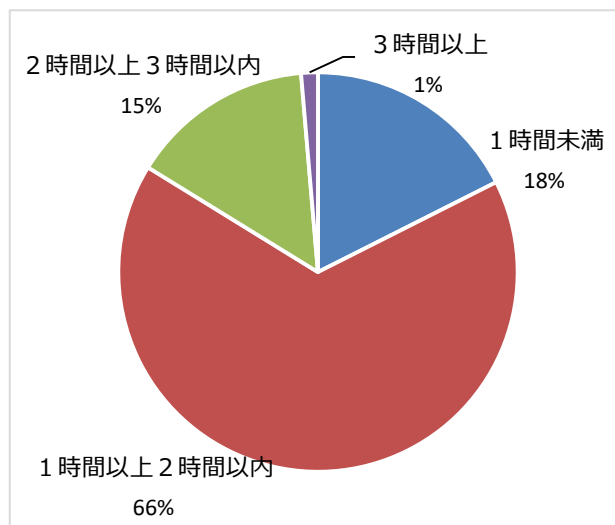


⑧ 1日当たりの部活動従事時間（平均）を教えてください。（休日含む）

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

1 時間未満	13人
1 時間以上 2 時間以内	49人
2 時間以上 3 時間以内	11人
3 時間以上	1人

1日当たりの平均的な部活動従事時間は、「1 時間以上 2 時間以内」が一番多く、66%を占めています。

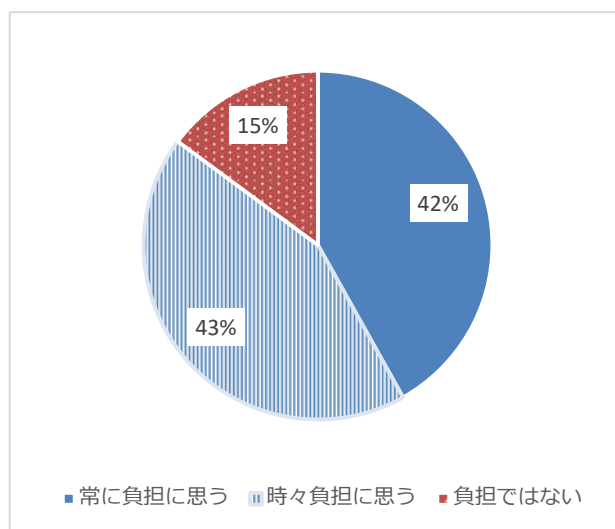


⑨ 部活動従事を負担と思いますか。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 74 人）】

常に負担に思う	31人
時々負担に思う	32人
負担ではない	11人

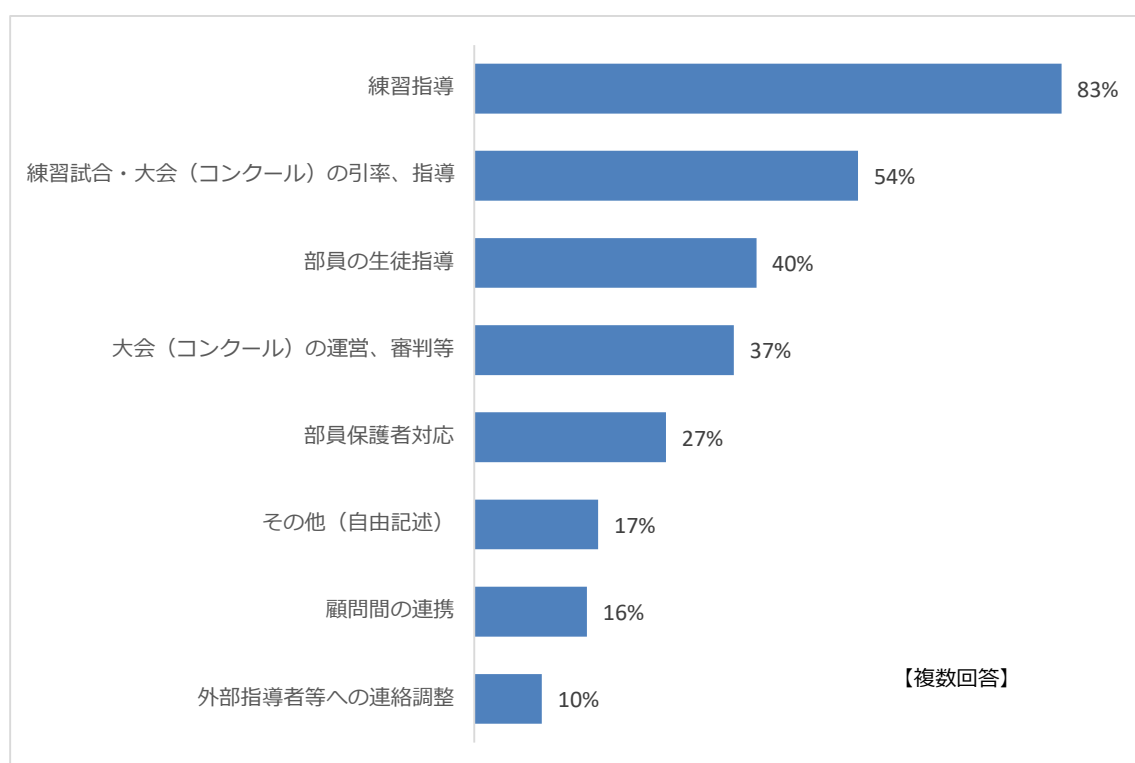
部活動の顧問を担当している教職員のうち、「常に負担に思う」が 42%、「時々負担に思う」が 43%と、全体の 85%が部活動従事に負担を感じています。



⑩ 部活動従事業務で負担だと思う項目を教えてください。

【部活動顧問を担当し、部活動従事を負担と思っている方のみ回答、複数選択可（回答数 63 人）】

練習指導	52人
練習試合・大会（コンクール）の引率、指導	34人
部員の生徒指導	25人
大会（コンクール）の運営、審判等	23人
部員保護者対応	17人
その他（自由記述）	11人
顧問間の連携	10人
外部指導者等への連絡調整	6人



部活動従事業務において 83%の教職員が部活動の中心活動である「練習指導」に負担を感じており、54%の教職員が「練習試合や大会（コンクール）の引率、指導」に負担を感じています。また、「部員の生徒指導（40%）」、「大会（コンクール）の運営、審判等（37%）」に関しても多数の教職員が負担に感じています。

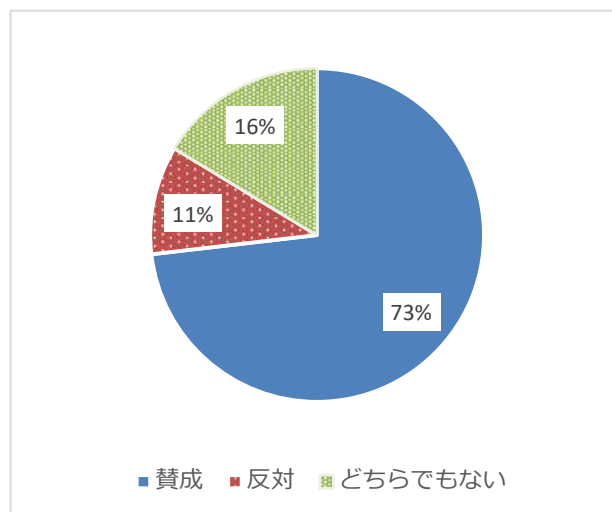
【その他意見】

- ・ 通常業務の仕事の遅れが気になってしまう
- ・ 休日に自分の時間が取れなくなり負担を感じる
- ・ 経験がない種目で専門的なアドバイスができず、主顧問に頼っていることに負担を感じる

⑪ 全国的に小学校部活動の廃止が進んでいますが、小学校部活動の廃止についてどう思いますか。

賛成	139人
反対	20人
どちらでもない	31人

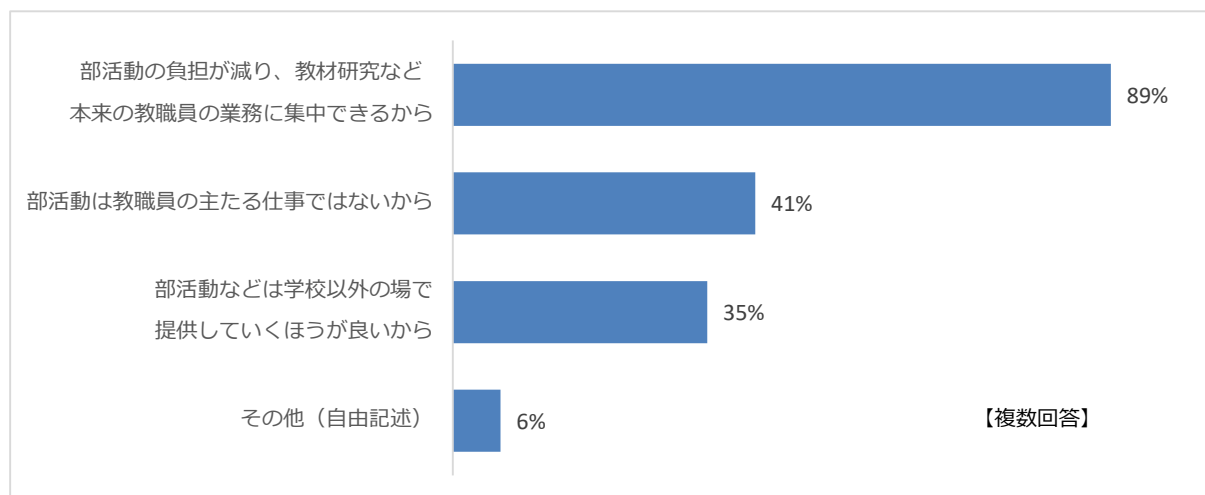
教職員のうち、73%が小学校部活動の廃止に賛成し、11%が反対しています。



⑫ 賛成する理由は何ですか。

【賛成する方のみ回答、複数選択可（回答数 139 人）】

部活動の負担が減り、教材研究など本来の教職員の業務に集中できるから	124人
部活動は教職員の主たる仕事ではないから	57人
部活動などは学校以外の場で提供していくほうが良いから	48人
その他（自由記述）	9人



小学校部活動の廃止に賛成する理由としては、「部活動の負担が減り、教材研究など本来の教職員の業務に集中できるから」が 89%を占めています。

また、「部活動は教職員の主たる仕事ではないから」が 41%、「部活動などは学校以外の場で提供していくほうが良いから」が 35%と児童、教職員それぞれの立場のメリットが考えられます。

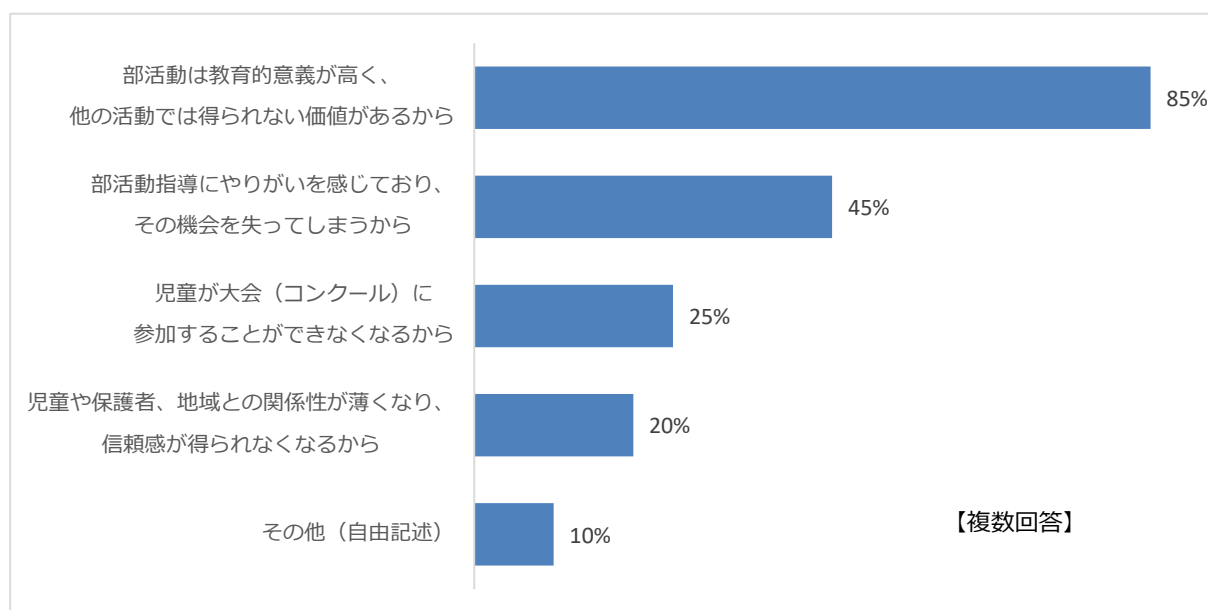
【その他意見】

- ・部活動は学習指導要領に位置付けられていない活動のため
- ・働き方改革を進めるうえで必要だと感じるため
- ・指導内容に対する保護者の要求が高く、事故が起きた場合の対応に不安を感じるなど、負担に対して割に合わない
- ・ほとんどの教職員が顧問をやりたくないため、顧問決めの時期には、大きな問題となる
- ・児童が部活動を真剣に取り組んでおらず、親も預け先の感覚でいると感じるため

⑬反対する理由は何ですか。

【反対する方のみ回答、複数選択可（回答数 20 人）】

部活動は教育的意義が高く、他の活動では得られない価値があるから	17人
部活動指導にやりがいを感じており、その機会を失ってしまうから	9人
児童が大会（コンクール）に参加することができなくなるから	5人
児童や保護者、地域との関係性が薄くなり、信頼感が得られなくなるから	4人
その他（自由記述）	2人



小学校部活動の廃止に反対する理由としては、「部活動は教育的意義が高く、他の活動では得られない価値があるから」が 85%と学習指導要領には含まれていないものの、教育的意義が高いと考えている教職員が多いことが分かります。

また、45%は「部活動指導にやりがいを感じており、その機会を失ってしまうから」と感じています。

【その他意見】

- ・地域や経済などによって格差がついてしまう可能性が高いから
- ・教職員が地域クラブ指導者を担う場合は、教職員の勤務体系の抜本的な改革が必要だが、期限までに改革することが難しいと感じるため
- ・学校の活動ならチャレンジできるけれど、地域活動になるとハードルが高くて参加できない子どももいると感じるから

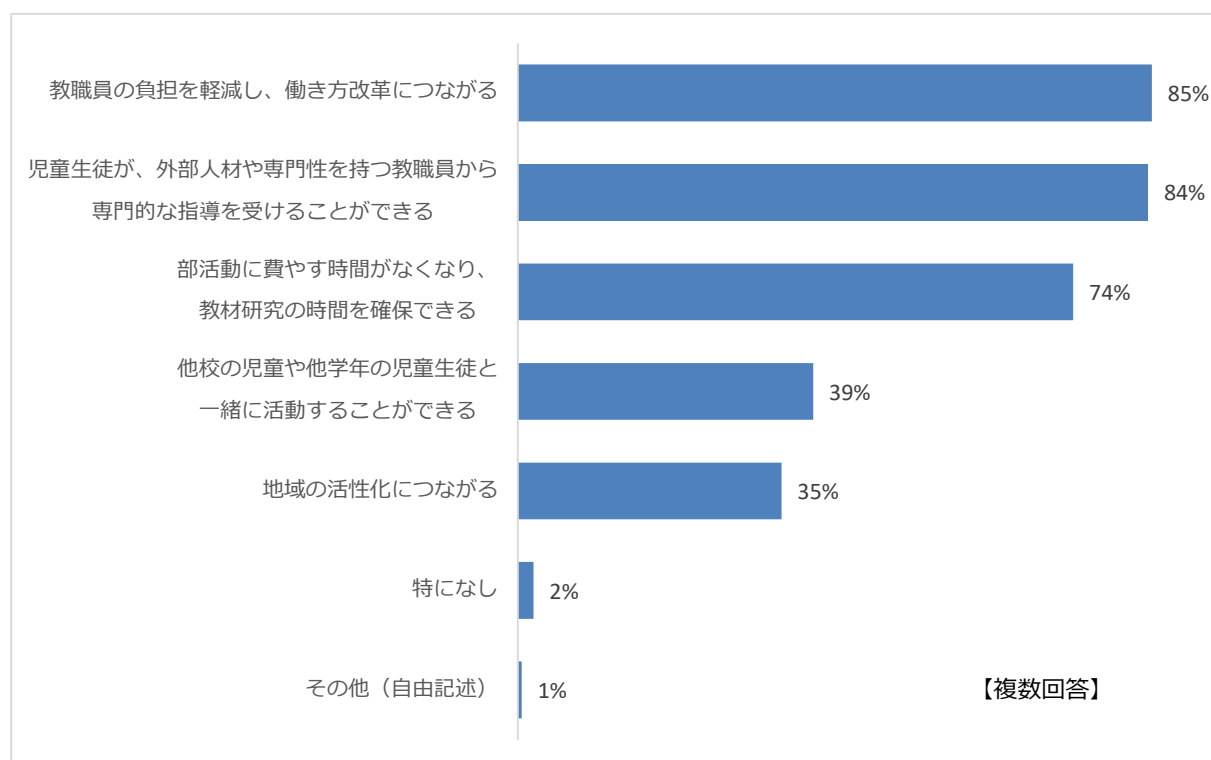
⑭ どちらでもないとする理由は何ですか。(自由記述)

- ・部活動は教育的意義があると感じているが、教職員の負担になっているため
- ・メリット、デメリット両方あるので何とも言えないため
- ・自身は部活動をやりたいが、部活動を負担に思う先生が多いため
- ・外部委託して部活動が継続できると良い
- ・外部委託しても会場が学校ならば何かと学校が対応することになると感じる
- ・具体的な対応が見えていない状態なので現時点では反対

⑮ 地域クラブ活動の創設のメリットについて考えられることを教えてください。

【複数選択可（回答数 190 人）】

教職員の負担を軽減し、働き方改革につながる	161人
児童生徒が、外部人材や専門性を持つ教職員から専門的な指導を受けることができる	160人
部活動に費やす時間がなくなり、教材研究の時間を確保できる	141人
他校の児童や他学年の児童生徒と一緒に活動することができる	75人
地域の活性化につながる	67人
特になし	4人
その他（自由記述）	1人



地域クラブ活動を創設した場合、考えられるメリットとしては、「教職員の負担を軽減し、働き方改革につながる」が 85%、「児童生徒が、外部人材や専門性を持つ教職員から専門的な指導を受けることができる」が 84%、「部活動に費やす時間がなくなり、教材研究の時間を確保できる」が 74%と教職員の抜本的な業務の見直しと、児童生徒が専門的な指導を受けられることができることに対する前向きな意見が多く見られます。

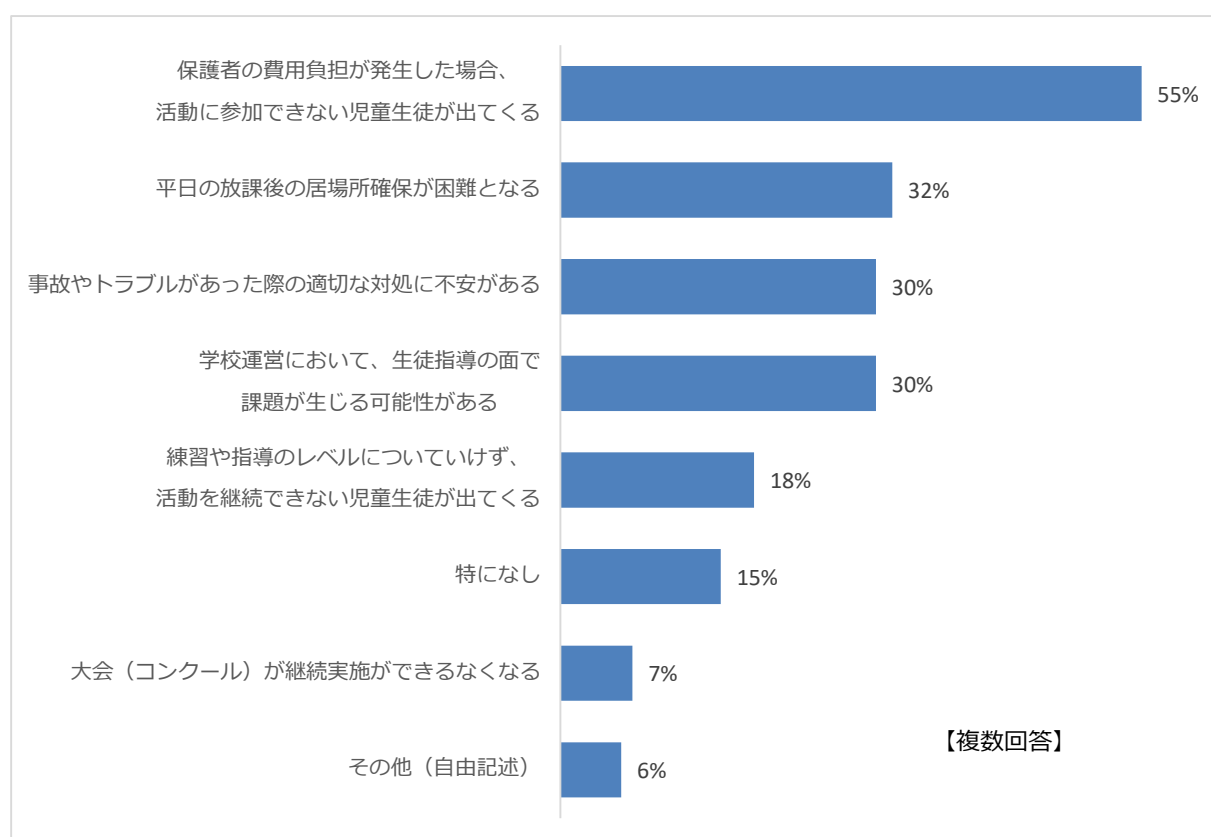
【その他意見】

- ・メリットに対してデメリットが多すぎると感じるため

⑯ 地域クラブ活動の課題を選択してください。

【複数選択可（回答数 190 人）】

保護者の費用負担が発生した場合、活動に参加できない児童生徒が出てくる	105人
平日の放課後の居場所確保が困難となる	60人
事故やトラブルがあった際の適切な対処に不安がある	57人
学校運営において、生徒指導の面で課題が生じる可能性がある	57人
練習や指導のレベルについていけず、活動を継続できない児童生徒が出てくる	35人
特になし	29人
大会（コンクール）が継続実施ができるなくなる	13人
その他（自由記述）	11人



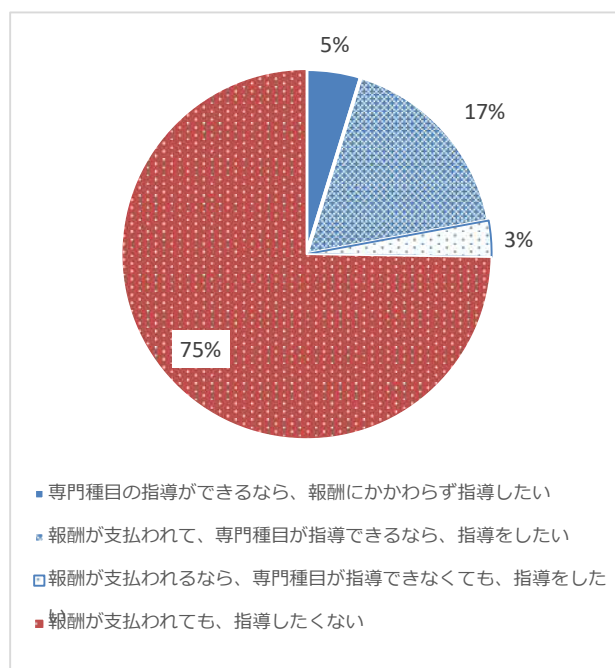
地域クラブ活動を創設した場合に考えられる課題として、「保護者費用負担が発生した場合、活動に参加できない児童生徒が出てくる」が 55%とこれまで気軽に参加できていた児童生徒の活動機会が失われることが心配されています。

【その他回答】

- ・土日のみの活動では、上達はあまり望めない
- ・人材確保や、外部指導者との連携の難しさ
- ・地域によってできるクラブの格差が生じる
- ・責任の所在や、問題が起きた時の対応が不安
- ・保護者は、小学校部活動は学童の感覚が強いため、保護者の意識改革が必要不可欠
- ・クラブ活動でのトラブルを学校に持ち込まれることによる生徒指導の増加
- ・児童同士の間関係や保護者と教職員との信頼関係などの部活動が行われていた場合のメリットの代替となるかどうか
- ・子どもの送迎ができない家庭が参加できるかどうか
- ・気軽に入部する雰囲気なくなり（活動場所の制約や費用の面）子どもが集まらないのではない

⑰ 地域クラブ活動（休日のみ活動）を創設した場合、指導したいと思いますか。

専門種目の指導ができるなら、報酬にかかわらず指導したい	9人
報酬が支払われて、専門種目が指導できるなら、指導をしたい	33人
報酬が支払われるなら、専門種目が指導できなくても、指導をしたい	6人
報酬が支払われても、指導したくない	142人



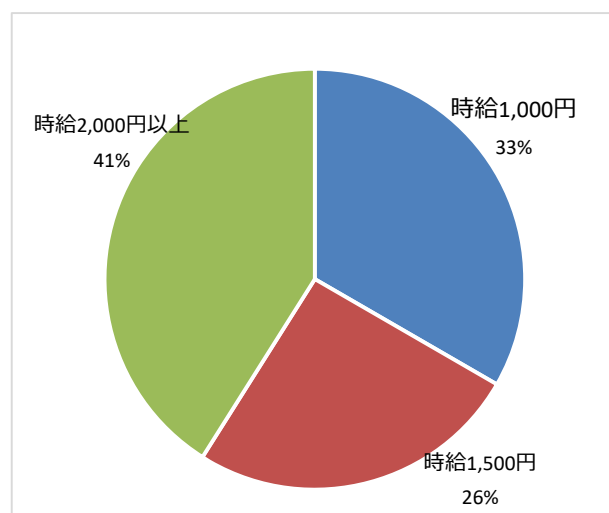
地域クラブ活動を創設した場合に、指導者として関わってもよいと考える教職員は 25%で、残りの 75%は報酬が支払われたとしても指導したくないと回答しています。

⑱ 指導者報酬についてのお考えを教えてください。

【報酬が支払われるなら指導したいと思っている方のみ回答（回答数 39 人）】

時給1,000円	13人
時給1,500円	10人
時給2,000円以上	16人

報酬が支払われる場合、時給はいくらが妥当であるかについては、時給 2,000 円以上が最も多く 41%で、次いで時給 1,000 円が 33%でした。



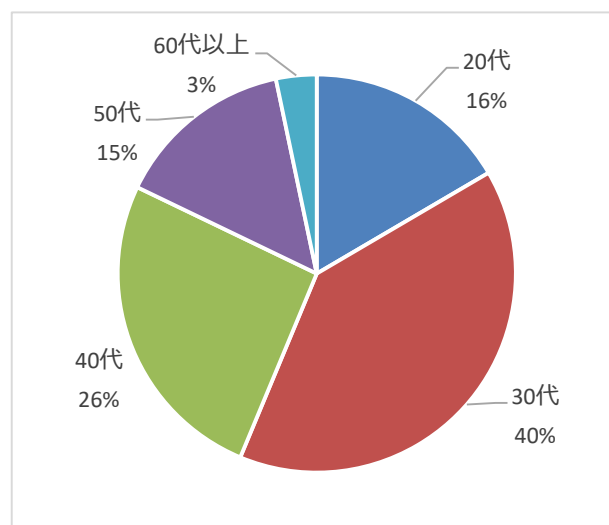
⑲ 指導者の課題や要望があれば教えてください。（自由記述）

- ・一部の教職員だけがボランティア的な参加となり忙しくなりそう
- ・学校と校務との兼ね合いで、指導時間などを確保することができるのか
- ・クラブ指導が優先になってしまう人もいるのではないか
- ・練習レベルが合う、合わないなどの問題が生じるのではないか
- ・夏休みの大会等は出張扱いになるのか
- ・大会運営などはどのようなになるのか
- ・生徒指導上の問題が起きた時の対応や大会の出場方法などが不透明すぎる
- ・勤務体系の抜本的な変革が必要
- ・教職員という立場ではなく、地域の指導者として活動することを保護者、地域の人含めて理解が必要
- ・家庭とのバランスをとるため、毎週指導に参加することが困難なため、複数名の指導者配置が良いと思う
- ・外部の人との連携により、調整の時間が必要になるのではないか
- ・兼業兼職の勤務時間の取り扱いについて
- ・本務の状況によっては活動開始時刻までに活動できないことが発生する可能性があると考え、引き受けることに対して抵抗がある

3 中学校アンケート結果

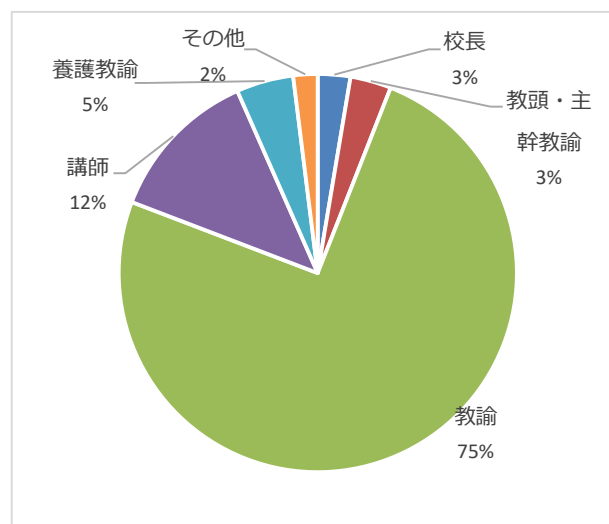
① 年代を選んでください。

20代	25人
30代	60人
40代	39人
50代	22人
60代以上	5人



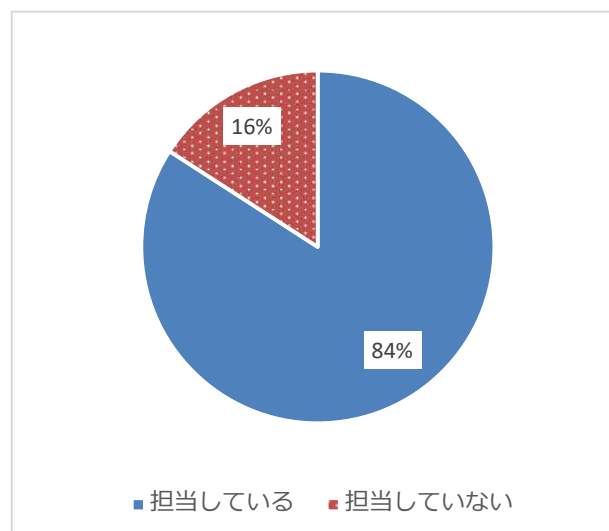
② 職種を選んでください。

校長	4人
教頭・主幹教諭	5人
教諭	113人
講師	19人
養護教諭	7人
その他	3人



③ 現在、部活動の顧問（正副含む）を担当していますか。

担当している	127人
担当していない	24人

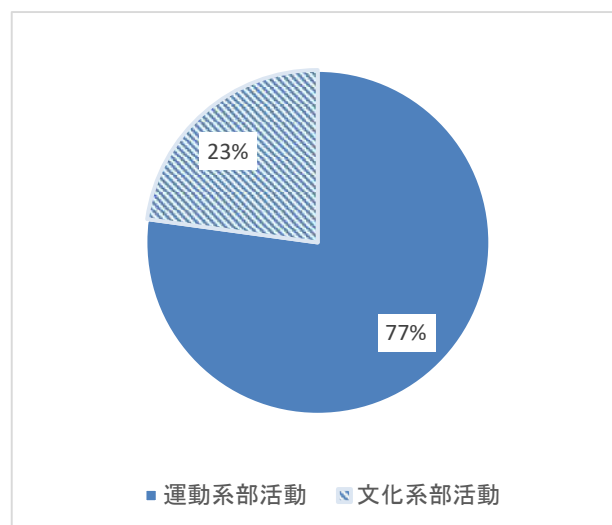


④ 担当している部を選んでください。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

運動系部活動	98人
文化系部活動	29人

部活動の顧問として携わっている教職員のうち、77%が運動系、23%が文化系の部活動を担当しています。

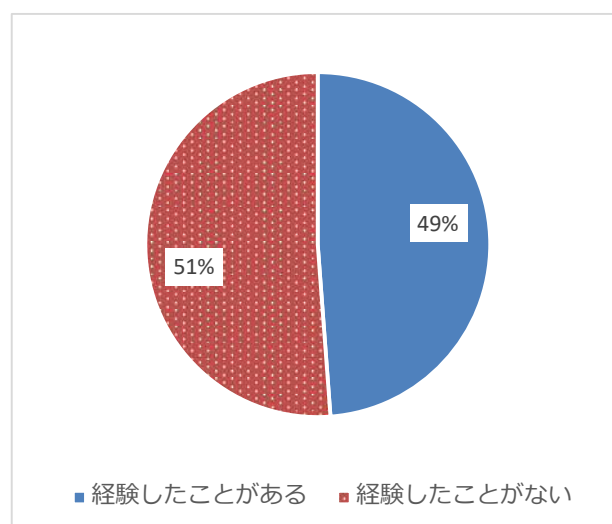


⑤ ④で選択した部活動は、顧問となる前に経験したことがある種目ですか。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

経験したことがある	62人
経験したことがない	65人

部活動の顧問を担当している教職員のうち、約半数は経験したことがない種目の顧問を担当しています。



⑥ 担当した理由を選んでください。

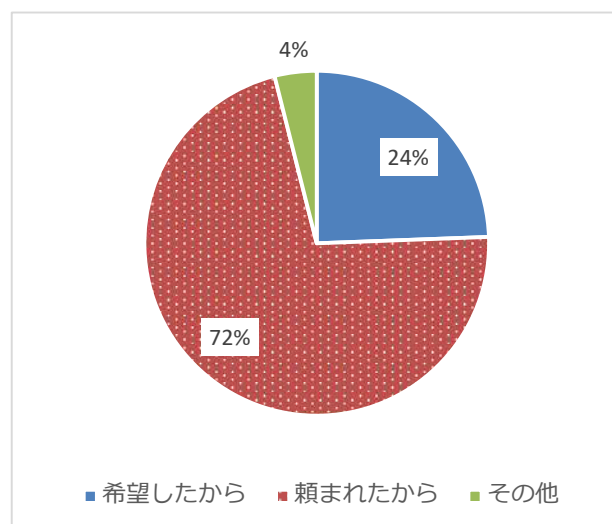
【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

希望したから	31人
頼まれたから	91人
その他（自由記述）	5人

部活動の顧問を担当している教職員の 72%は頼まれたことで担当しています。

【その他の意見】

- ・勤務命令で担当することとなった
- ・異動1年目は選択できない雰囲気がある

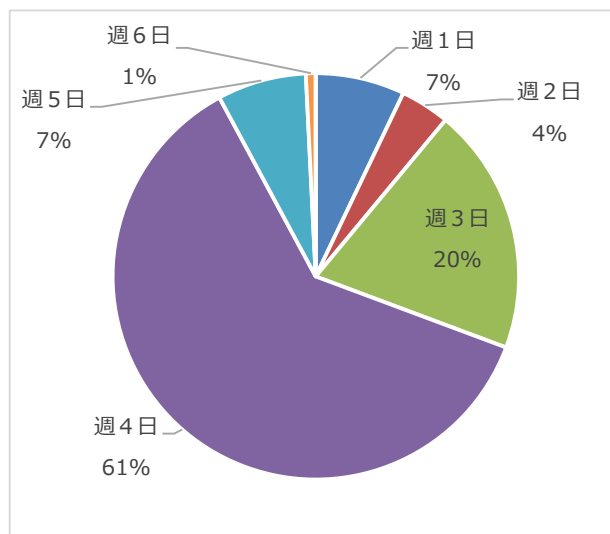


⑦ 1週当たりの部活動従事日数（平均）を教えてください。（休日含む）

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

週 1 日	9人
週 2 日	5人
週 3 日	25人
週 4 日	78人
週 5 日	9人
週 6 日	1人

1週間当たりの平均的な部活動従事日数は、週 4 日が一番多く 61%、次いで週 3 日で 20%となり、8 割以上の教職員が週の半分程度は部活動に従事している状況です。

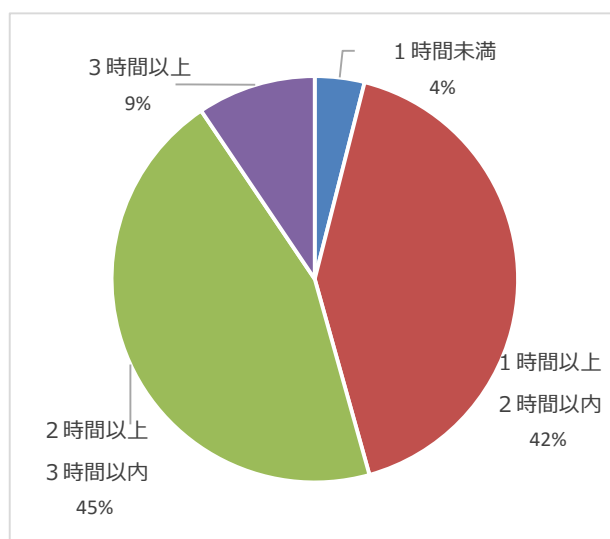


⑧ 1日当たりの部活動従事時間（平均）を教えてください。（休日含む）

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

1 時間未満	5人
1 時間以上 2 時間以内	53人
2 時間以上 3 時間以内	57人
3 時間以上	12人

1日当たりの平均的な部活動従事時間は、「2 時間以上 3 時間以内」が 45% と一番多く、次いで「1 時間以上 2 時間以内」が 42%を占めています。

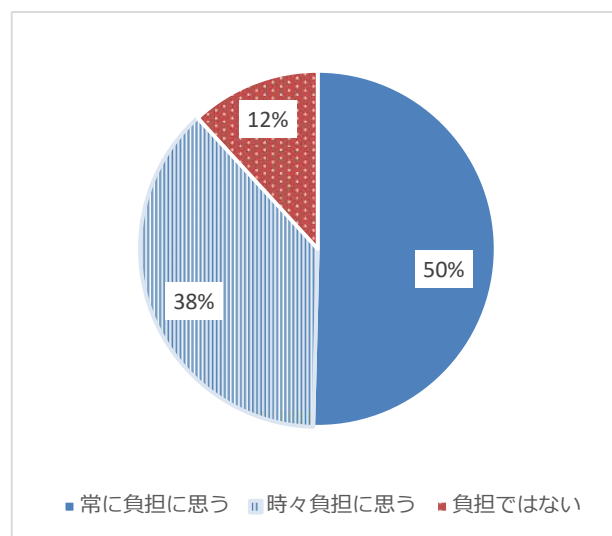


⑨ 部活動従事を負担と思いますか。

【部活動顧問を担当している方のみ回答（回答数 127 人）】

常に負担に思う	64人
時々負担に思う	48人
負担ではない	15人

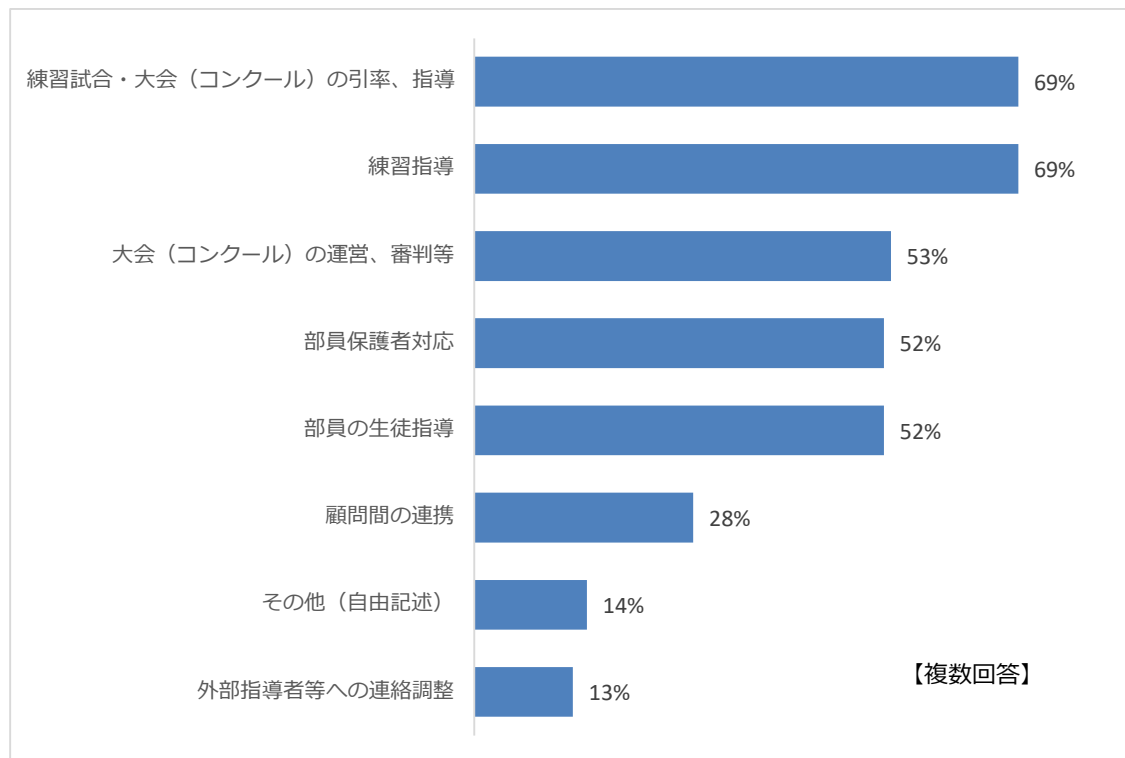
部活動の顧問を担当している教職員のうち、「常に負担に思う」が 50%、「時々負担に思う」が 38%と、全体の 88%が部活動を従事することに対し、負担を感じています。



⑩ 部活動従事業務で負担だと思う項目を教えてください。

【部活動顧問を担当し、部活動従事を負担と思っている方のみ回答、複数回答可（回答数 112 人）】

練習試合・大会（コンクール）の引率、指導	77人
練習指導	77人
大会（コンクール）の運営、審判等	59人
部員の生徒指導	58人
部員保護者対応	58人
顧問間の連携	31人
その他（自由記述）	16人
外部指導者等への連絡調整	14人



部活動従事業務において部活動の中心活動である「練習試合や大会（コンクール）の引率、指導（69%）」、「練習指導（69%）」に負担を感じています。また、「大会（コンクール）の運営、審判等（53%）」、「部員保護者対応（52%）」、「部員の生徒指導（52%）」に関しても半数の教職員が負担を感じています。

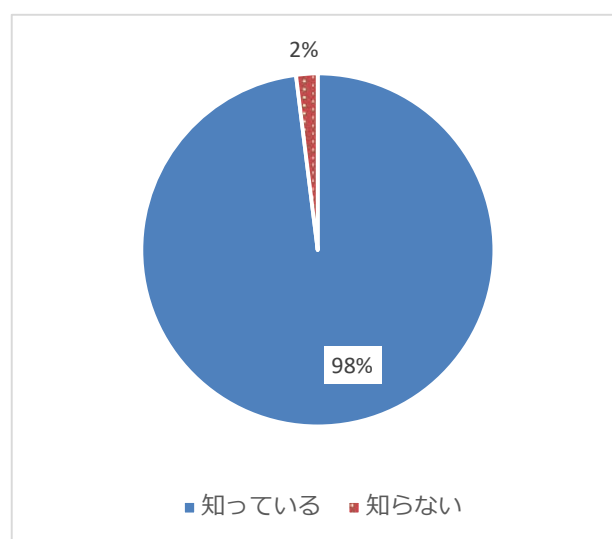
【その他意見】

- ・専門性が無く、また種目を学ぶ時間がない
- ・部活動終了後でないと通常業務が行えない
- ・休日に大会等があり、自身の休みが少なくなってしまう
- ・やりたくない種目をやっていることに負担を感じる
- ・大会における書類整理が負担を感じる
- ・中小体連の大会出場のための臨時顧問を受けることに負担を感じる

⑪ 学校部活動の地域移行について知っていますか。

知っている	148人
知らない	3人

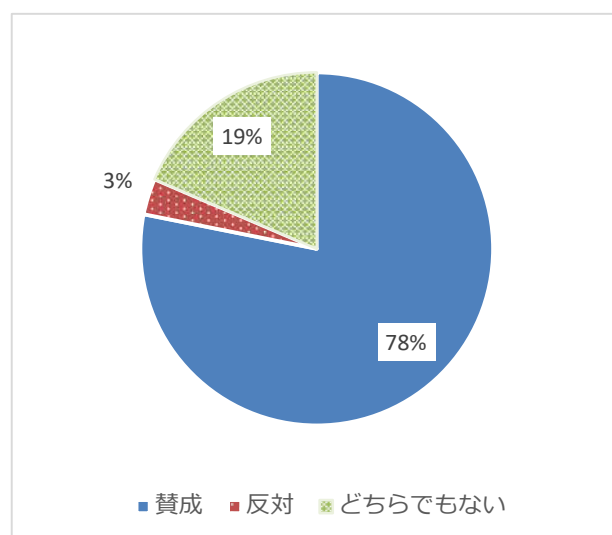
教職員の 98%が学校部活動の地域移行について認知しており、関心度の高さが見られます。



⑫ 学校部活動を地域クラブ活動に移行することについてどう思いますか。

賛成	118人
反対	5人
どちらでもない	28人

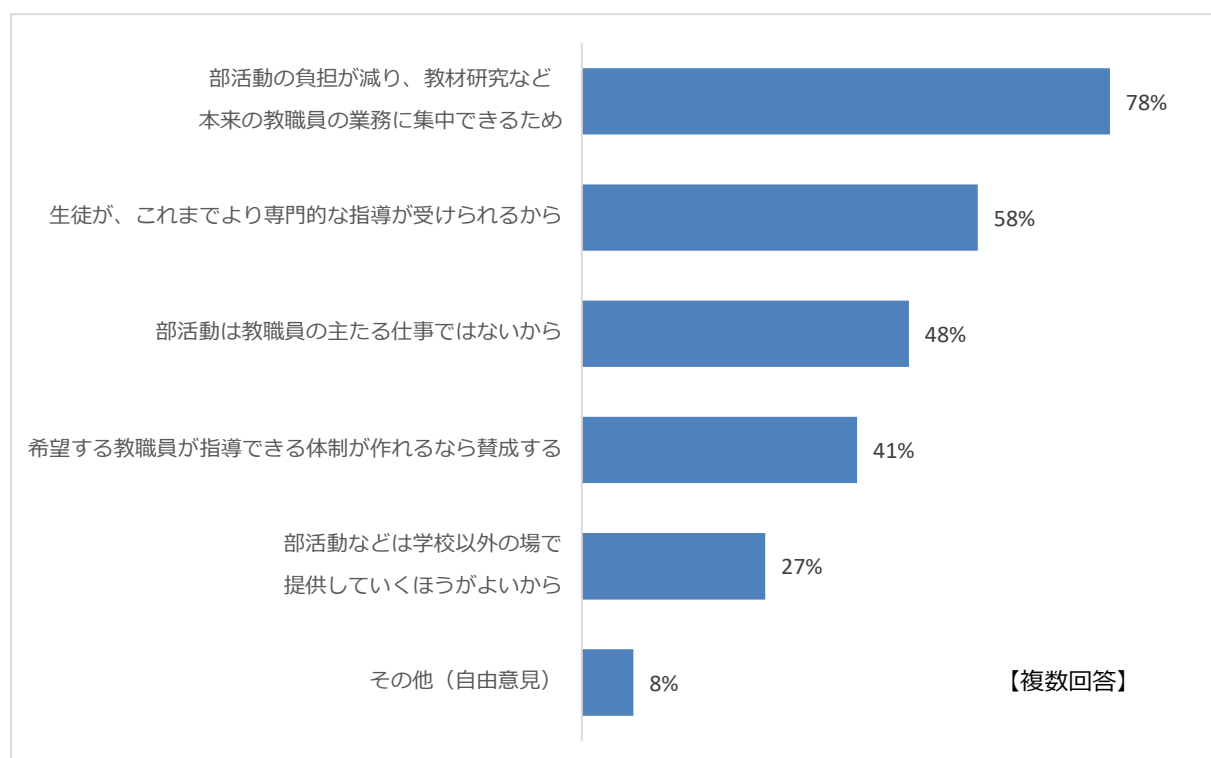
教職員のうち、78%が学校部活動を地域クラブ活動に移行することに賛成し、19%が反対しています。



⑬ 賛成する理由は何ですか。

【賛成する方のみ回答、複数選択可（回答数 118 人）】

部活動の負担が減り、教材研究など本来の教職員の業務に集中できるため	92人
生徒が、これまでより専門的な指導が受けられるから	69人
部活動は教職員の主たる仕事ではないから	57人
希望する教職員が指導できる体制が作れるなら賛成する	48人
部活動などは学校以外の場で提供していくほうがよいから	32人
その他（自由意見）	9人



学校部活動の地域移行に賛成する理由としては、「部活動の負担が減り、教材研究など本来の教職員の業務に集中できるため」が 78%を占めます。

また、「生徒が、これまでより専門的な指導が受けられるから」が 58%、「部活動は教職員の主たる仕事ではないから」が 48%と生徒、教職員それぞれの立場のメリットが考えられます。

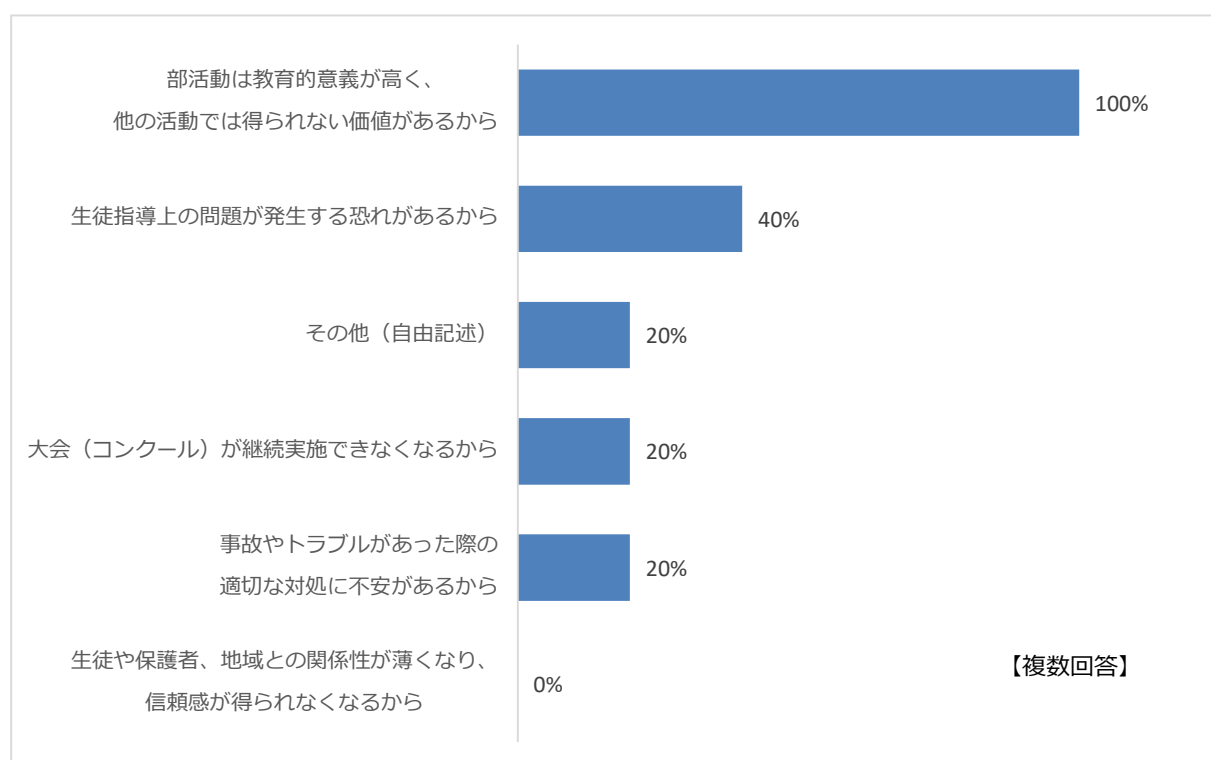
【その他意見】

- ・教職員の善意で自分自身や家庭を犠牲にして携わる体制を変えてほしい
- ・見合う手当が支払われていない
- ・担当する部活動種目が盛んなため、これまでの体制維持や保護者からの期待が大きいことで精神的負担になっている
- ・養護教諭が部活動の大会で救護員として参加することがあるが、地域移行された場合には、医師や看護師の派遣になると負担が減って助かる

⑭ 反対する理由は何ですか。

【反対する方のみ回答、複数選択可（回答数 5 人）】

部活動は教育的意義が高く、他の活動では得られない価値があるから	5人
生徒指導上の問題が発生する恐れがあるから	2人
その他（自由記述）	1人
大会（コンクール）が継続実施できなくなるから	1人
事故やトラブルがあった際の適切な対処に不安があるから	1人
生徒や保護者、地域との関係性が薄くなり、信頼感が得られなくなるから	0人



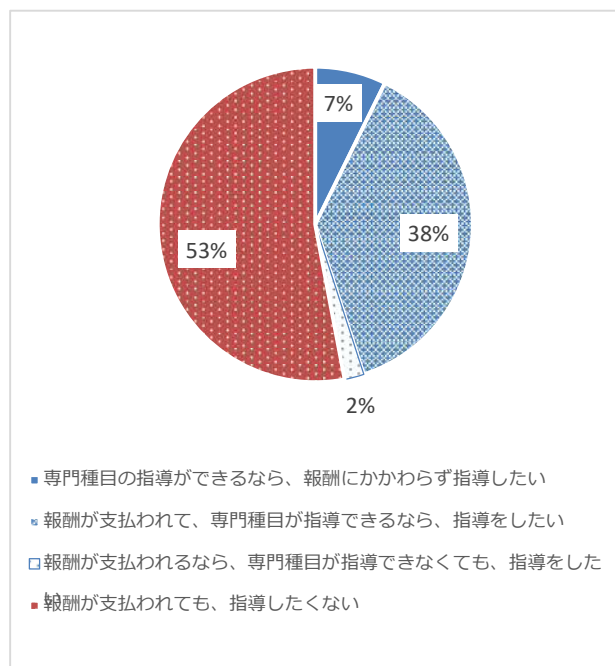
学校部活動の地域移行に反対する理由としては、「部活動は教育的意義が高く、他の活動では得られない価値があるから」と考えていることが分かります。

【その他意見】

- ・指導員の確保が難しいと感じるため

⑮ 地域クラブ活動を創設した場合、指導したいと思いますか。

専門種目の指導ができるなら、報酬にかかわらず指導したい	11人
報酬が支払われて、専門種目が指導できるなら、指導をしたい	57人
報酬が支払われるなら、専門種目が指導できなくても、指導をしたい	3人
報酬が支払われても、指導したくない	80人



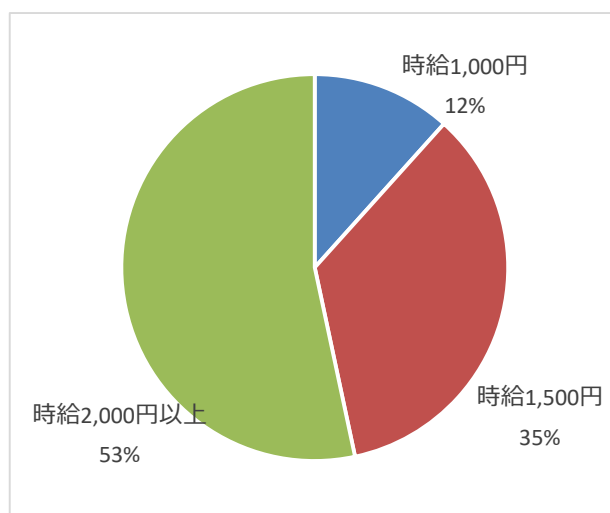
地域クラブ活動を創設した場合に、指導者として関わってもよいと考える教職員は47%で、残りの53%は報酬が支払われたとしても指導したくないと回答しています。

⑯ 指導者報酬についてのお考えを教えてください。

【報酬が支払われるなら指導したいと思っている方のみ回答（回答数 60 人）】

時給1,000円	7人
時給1,500円	21人
時給2,000円以上	32人

報酬が支払われる場合、時給はいくらが妥当であるかについては、時給 2,000 円以上が最も多く 53%で、次いで時給 1,500 円が 35%でした。



⑰ 指導者の課題や要望があれば教えてください。(自由記述)

- ・クラブの規約や組織の構成、意思決定方法などの規定、規則の明確化
- ・地域クラブの活動目的や目標を明確にし、指導方針を定めたほうが良い
- ・指導を希望する人が希望する種目を指導できるような制度にしてほしい
- ・指導者の質の確保（勝利主義や体罰、セクシャルハラスメントなど）
- ・外部指導員との連携
- ・教職員が時間外に報酬をもらって指導者となった場合、一方で学校に残って分掌をする先生方は無償で働いているため、公平な業務分担にしてほしい
- ・教職員が対応する場合の兼業兼職の整理
- ・指導者の確保や活動場所、用具の準備が十分にできるかが課題
- ・参加する生徒の人数と指導者のバランスを確保する
- ・けがなどの管理責任や傷害保険の加入について
- ・活動場所が学校となる場合、結局管理者として教職員が部活動に付き合う部分が残ってしまうと感じる
- ・大会運営を整理してほしい
- ・平日と土日の部活動を分けて段階的な地域クラブを導入するには無理があると思う
- ・保護者の理解を得る必要がある
- ・各市町が連携して進めてほしい